

(様式1)

平成26年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 145	提案機関名 (社) 神奈川県園芸協会 (県果樹組合連合会)
要望問題名 ブドウ品種「藤稔」の優良系統の選抜について	
現地の藤稔の生産樹も大分、年数が達ち、樹齢が古くなり、生産量、品質の向上のための技術開発が望まれる園が多くなってきている。現地では、接ぎ木等での更新が図られている現状である。 優良系統の比較選抜などにより、現地に適した優良系統の選抜、藤稔の品質向上対策技術の確立をお願いします。	
解決希望年限	① 1年以内 ② <input checked="" type="checkbox"/> 2～3年以内 ③ 4～5年以内 ④ 5～10年以内
対応を希望する研究機関名	① <input checked="" type="checkbox"/> 農業技術センター ② 畜産技術センター ③ 水産技術センター ④ 自然環境保全センター
備 考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	果樹花き研究課
対応区分	① 実施 ② <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 ③ 継続検討 ④ 実施済 ⑤ 調査指導対応 ⑥ 現地対応 ⑦ 実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 直売向けブドウ新品種の安定生産技術の確立 藤稔現地優良系統の選定		
対応の内容等	現地で優良とされる系統について、所内で栽培し特性調査を行い、安定した特性を持つ系統の選抜を行っていく予定です。現在、3系統について栽培検討を行っており、その内2系統については、結実を開始しており、果実品質調査を行っていません。 品質向上対策技術については、顆粒肥大促進のための新梢管理法として、摘心と夏期剪定の程度と時期を検討しています。		
解決予定年限	① 1年以内 ② 2～3年以内 ③ <input checked="" type="checkbox"/> 4～5年以内 ④ 5～10年以内		
備 考			